

◆ 特定共同研究(A)

(研究期間：平成24年4月1日ー平成25年3月31日)

(地震予知、火山噴火予知計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	プロジェクト名	
2012-A-01 (1206)	伊藤喜宏	東北大学大学院理学研究科	企画部	ゆっくり滑りの発生機構とアスペリティとの相互作用の解明	
2012-A-01 (1207)	岡田知己	東北大学大学院理学研究科	企画部	内陸地震発生過程の解明	
2012-A-01 (1405)	亀 伸樹	東京大学地震研究所	亀 伸樹	予測シミュレーションモデルの高度化のための手法開発	
2012-A-01 (1406)	鶴岡 弘	東京大学地震研究所	鶴岡 弘	地震発生予測のための地震活動評価手法の基盤構築	
2012-A-01 (1411)	上嶋 誠	東京大学地震研究所	上嶋 誠	ネットワークMT法観測による広域深部比抵抗構造の解明	
2012-A-01 (1428)	平賀岳彦	東京大学地震研究所	平賀 岳彦	可観測物性の状態・環境への依存性	
2012-A-01 (1430)	安田 敦	東京大学地震研究所	安田 敦	噴火に伴うマグマ中の揮発性成分変化に関する研究	
2012-A-02	佐藤比呂志	東京大学地震研究所	石山達也	大規模活断層システムにおける長期地殻歪み蓄積過程の解明	

◆ 特定共同研究(B) (研究期間：平成24年4月1日ー平成25年3月31日)					
(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)					
No.	新規 継続 最終 の年度別	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
2010-B-01	継続	名和一成	産業技術総合研究所	大久保修平	精密重力観測のための陸水補正法の開発と適用 
2011-B-01	継続	佐藤比呂志	東京大学地震研究所	佐藤比呂志	日本列島の震源断層マッピング 
2012-B-01	新規	福島 洋	京都大学防災研究所	青木陽介	SARを用いた地殻変動研究 
2012-B-02	新規	本多 亮	神奈川県温泉地学研究所	平田 直	首都圏地震観測網(MeSO-net)を使った地震活動・プレート構造の研究 

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆ 特定共同研究(C) (研究期間：平成24年4月1日－平成25年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
2010-C-01	地震火山噴火予知研究推進センター長	東京大学地震研究所	地震火山噴火予知研究推進センター長	防災研究フォーラムによる地震火山研究の推進	

◆ 一般共同研究（研究期間：平成24年4月1日－平成25年3月31日）

（所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	津村紀子	千葉大学大学院理学研究科	加藤愛太郎	能登半島地震震源域における地下構造の時間変化に関する研究 
2	浦川 啓	岡山大学大学院自然科学研究科	三部賢治	中性子を用いた含水珪酸塩マグマの構造に関する研究 
3	植平賢司	九州大学大学院理学研究院	ト部 卓 鶴岡 弘 中川茂樹	WINシステムIPv6通信への対応(2) 
4	藤 浩明	京都大学大学院理学研究科	歌田久司	津波電磁場に関する基礎的研究 
5	市来雅啓	東北大学大学院理学研究科	上嶋 誠	長周期電磁場観測による東北地方沈み込み帯の上部マントル電気伝導度構造の推定 
6	中村仁美	東京工業大学大学院理工学研究科	中井俊一	温泉水中の極低含有量元素の定量と同位体分析 
7	金嶋 聰	九州大学大学院理学研究院	川勝 均	阿蘇山火口下浅部クラック中の火山ガス流に関する物理モデルの構築 
8	横尾亮彦	京都大学大学院理学研究科	鈴木雄治郎	火山噴煙運動による空気振動放射に関する研究 
9	横瀬久芳	熊本大学大学院自然科学研究科	安田 敦	五島列島第四紀火山岩類の地球化学的特徴 
11	嶋野岳人	富士常葉大学大学院環境防災研究科	安田 敦	富士火山成長期における溶岩流と火砕堆積物の層序関係に関する研究 
12	小野重明	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域	三部賢治	天然炭酸塩鉱物ドロマイトの電気伝導度特性の決定 
13	田部井隆雄	高知大学教育研究部自然科学系理学部門	加藤照之	プレート沈み込み境界の急変部における地殻変動観測 
14	山中佳子	名古屋大学大学院環境学研究科	竹内 希	DSMを用いた新しい震源解析手法による運動型地震メカニズムの解明 
15	須田直樹	広島大学大学院理学研究科	鶴岡 弘	広島地域の地殻深部で発生する地震の応力降下量について 
16	松島 健	九州大学大学院理学研究院	及川 純	三宅島における稠密GPS観測網の構築と再測定 
17	金子克哉	京都大学大学院人間・環境学研究科	安田 敦	顕微FT-IR反射分光法を用いた大規模珪長質火成活動におけるマグマ含水量の測定 
18	里村幹夫	静岡大学理学部	加藤照之	稠密GPS観測に基づく東海地方の詳細な地殻変動の研究 
19	齋藤 務	室蘭工業大学大学院航空宇宙システム工学専攻	小屋口剛博 鈴木雄治郎	爆発的火山噴火における火口近傍での噴流構造に関する数値的・実験的研究 

◆ 研究集会（研究期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会。開催場所は原則として地震研究所）

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催 予定日	
1	廣瀬 仁	防災科学研究所 地震・火山防災研究ユニット	小原一成	「スロー地震の発生メカニズムを探る：測地・地震観測、データ処理、実験、シミュレーション、モデル化から得られる情報の総合化と巨大地震との関連性の解明を目指して」	H24年9月	
2	福田洋一	京都大学大学院理学研究科	瀧川一起 大木聖子	地学教育の現状とその改革に向けて	H24年9月～10月の2日間	
3	今村文彦	東北大学大学院工学研究科	佐竹健治	巨大津波災害に関する合同研究集会	H24年12月初旬	
4	鈴木雄治郎	東京大学地震研究所	鈴木雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	H24年10月～12月の2日間	
5	中原 恒	東北大学大学院理学研究科	古村孝志	不均質媒質における波動伝播の物理学の深化-理論・実験・観測・シミュレーションからの複合的アプローチ-	H24年9月の2日間	
6	山本俊六	公益財団法人鉄道総合技術研究所	ト部 卓弘 鶴岡 弘	地震動の即時予測と防災に向けた情報の活用	H24年9月の2日間	
7	山口 覚	大阪市立大学大学院理学研究科	上嶋 誠	柿岡の地磁気観測百年 -地球物理学に果たす役割-	H25年1月12-13日	
8	堀 高峰	海洋研究開発機構地震・津波防災研究プロジェクト	波多野恭弘	室内実験と数値実験から探る地震活動の物理	H24年7～8月の2日間	

◆ 国際・学際研究集会（研究期間：平成24年6月－平成25年3月31日）

（全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会。

国際的または多くの分野にまたがる学際的な研究集会。開催場所は原則として地震研究所）

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催 予定日
2012-E-01	末次 大 輔	独立行政法人海洋研究 開発機構地球深部活動 研究プログラム	歌田 久司 川勝 均 塩原 肇 馬場 聖至 一瀬 建日	International Workshop on New Approaches to the Oceanic Mantle	平成25年3月25-27 日 

◆ 国際・学際共同研究

(研究期間：平成24年6月－平成25年3月31日)

(全国的あるいは国際的な規模のグループが実施する研究プロジェクト)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	プロジェクト名	
2012-D-01	井口 正人	京都大学防災研究所	中田 節也	インドネシアにおける開口型火道システムを持つ火山における噴火予測	
2012-D-02	金嶋 聡	九州大学大学院理学研究院	川勝 均	散乱波解析による火山体の時間変化検出と変化領域決定の新技术に関する研究	
2012-D-03	伊藤 喜宏	東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター	望月 公廣	ヒクラング沈み込み帯スロースリップの海底観測	
2012-D-04	飯塚 敦	神戸大学自然科学系先端融合研究環都市安全研究センター	堀 宗朗	巨大地震・地震災害のシミュレーション統合の基盤構築	
2012-D-05	大藤 茂	富山大学大学院理工学研究部 (理学領域)	折橋 裕二	日本列島を形成した弧－海溝系の進化：過去5億年間の比較沈み込み帯学に向けて－	
2012-D-06	山口 覚	大阪市立大学大学院理学研究科	上嶋 誠	地形学・地震学および地球電磁気学的手法を統合的に用いた断層地下構造の解明－地表から起震断層まで－	